

発信年月日：平成 27 年 3 月 3 日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1295
生涯学習 スポーツ振興課	平川 慎太郎	末永 賀之		FAX 0837-22-3564
件名	ラグビーワールドカップ 2019 開催都市の決定を受けて 大西長門市長がコメントを発表			

- 1 開催都市発表日時 平成 27 年 3 月 2 日 (月) 日本時間 21 時 20 分～
- 2 決定場所 アイルランド・ダブリン ラグビーワールドカップリミテッド理事会
- 3 開催都市決定に対する大西市長コメント

昨日 (平成 27 年 3 月 2 日 (月) の日本時間 21 時 30 分)、公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会からラグビーワールドカップ 2019 の開催都市が発表されました。

開催都市として発表された 12 会場には、

- ・2011 年の東日本大震災から日本の復興を世界に示す、岩手県釜石市「釜石鶴住居復興スタジアム (仮称)」
 - ・国内高校ラグーマンの聖地である大阪府東大阪市「花園ラグビー場」や埼玉県熊谷市「熊谷ラグビー場」
 - ・今後の日本スポーツ界の頂点を決定する競技場となる「新国立競技場 (仮称)」
- など国内各地の名だたる競技場が選定されています。

また、九州地方からも 3 会場が開催都市として決定され、キャンプ地の招致を目指しております本市といたしましても、たいへん期待の持てる会場選定ではないかと真摯に受け止めております。

昨日の組織委員会の発表からは、全国の世界 3 大スポーツ祭典の 1 つである『ラグビーワールドカップ』の開催を通じて、日本全国の津々浦々にラグビーを浸透させるとともに、日本からアジアへ、世界へとラグビーを通じて、オールジャパンの体制で、日本の活力・魅力を世界各国へと発信しようとする主催者の意気込みを汲み取ることが出来ます。

本市におきましては、今後、キャンプ地の招致に係る専門部署を設けて、全庁を挙げて組織的に取り組んでまいりたいと考えております。そして、組織委員会や開催都市、山口県との連携強化を図りながら、情報収集に努めるとともに、まずは、公認のキャンプ地として認めていただくこと、また、招致活動を通じて、ラグビーワールドカップ 2019 が『地域に根付き、継続する大会』となり、本市の『未来へと繋がるような都市整備』の一助となるよう計画しながら、山口県長門市の魅力を全国へ、世界へと発信し、本市の飛躍へと繋がるよう邁進してまいりたいと考えております。